

提供日 2018/10/30

タイトル 「連詩を作ろう！ワークショップ」を伊豆の国市立葦山南小学校で開催

担当 公益財団法人静岡県文化財団

連絡先 公益財団法人静岡県文化財団 事業課 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

グランシップ子どもアート体験！学校プログラム

伊豆の国市立葦山南小学校にて「連詩をつくろう！ワークショップ」を開催！

～第一線で活躍する詩人と一緒に連詩を創作します～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様に芸術性の高い舞台芸術を鑑賞・体験する機会を多く持っていただくために、国内外の芸術家によるコンサートやワークショップなど、各地の文化施設や学校においてアウトリーチ活動（出前講座）を積極的に実施しています。

今回は、第一線で活躍している詩人と、子どもたちが「連詩」の創作に取り組みます。昨年4月に逝去された三島市出身の詩人・大岡信さんが提唱した連詩は、一部の小学校の国語の教科書にも掲載されており、詩人とともに連詩に取り組むことができる貴重な機会です。

2 概要

区分	内容
日時	平成30年11月6日（火） 11:25～15:30（4・5・6時間目）
会場	伊豆の国市立葦山南小学校 6年1組・2組教室（伊豆の国市中817-1）
参加者	6年1組（24名）・6年2組（24名）
講師	1組担当：文月悠光（詩人） 2組：野村喜和夫（詩人）
進行内容	<4時間目（11:25～12:10）> 詩人の自己紹介、「連詩」についての説明、講師によるデモンストレーション、創作開始 <5・6時間目（13:50～15:30）> 創作、メロディにのせた連詩の発表、講師からの講評

3 詩人プロフィール

● 野村喜和夫（のむら きわお）

詩集「特性のない陽のもとに」で歴程新鋭賞、「風の配分」で高見順賞、「ニューインスピレーション」現代詩花椿賞受賞など。評論「移動と律動と眩暈と」及び「萩原朔太郎」で鮎川信夫賞ほか著書書多数。英訳選詩集「Spectacle&Pigsty」で2012Best Translated Book Award in Poetry(USA)を受賞。戦後世代を代表する詩人の一人として現代詩の最先端を走り続けている。「しずおか連詩の会」では、2009年より創作の場をまとめるさばき手を務めており、今年度で13回目の参加となる。

● 文月悠光（ふづき ゆみ）

1991年北海道生まれ。16歳で現代詩手帖賞を受賞。高校3年の時に発表した第1詩集『適切な世界の適切ならざる私』（思潮社）で、中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少で受賞。詩集に『屋根よりも深々と』（思潮社）、『わたしたちの猫』（ナナロク社）。近年は、エッセイ集『洗礼ダイアリー』（ポプラ社）、『臆病な詩人、街へ出る。』（立東舎）が若い世代を中心に話題に。NHK全国学校音楽コンクール課題曲の作詞、詩の朗読、書評の執筆、詩作の講座を開くなど広く活動中。

4 「2018年しずおか連詩の会」について

日本を代表する詩人等が5人集まり、3日間の創作期間を経て3行と5行の詩を交互に組み合わせた40編の連詩を朗読、発表する。各詩人が担当した詩について、作者自らが解説し、各言葉に込められた思いと共に、創作期間中のエピソードなども披露。1999年から開催し、今年で19回目。今回はグランシップ出前公演として3年ぶりに浜松市で開催した。

参加詩人：野村喜和夫、古川日出男、カニエ・ナハ、小島ケイタニーラブ、文月悠光

日時：10月28日（日）14:00～ 会場：アクトシティ浜松（浜松市） 入場料：500円

5 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団 事業課 TEL 054-203-5714（担当：藤井、河合）